

次のステージへ前進 健康な土づくり 25 周年記念大会

平成 10 年から取り組んできた「健康な土づくり事業」は今年で 25 周年を迎え、11 月 25 日に「健康な土づくり 25 周年記念大会」を町公民館で開催しました。

大会では、薄町長が「ミネラル栽培といえば西会津町といわれるような産地づくりを目指し、10 月から業務を開始した一般財団法人西会津町農業公社と連携し、健康な土づくりによるミネラル栽培を一層進めていきたい」とあいさつしました。

続いて、十和田おいらせ農業協同組合の斗澤康広代表理事専務（下左写真）が「JA 十和田おいらせにおける健康な土づくり事業の取組みについて」と題して記念講演を行いました。

パネルディスカッションでは、県会津農林事務所喜多方農業普及所の新田耕作所長をコーディネーターに、薄町長や農業関係者らがパネラーとなり、健康な土づくりや儲かる農業について意見を交わしました。（パネラーは以下のとおり）

大会の最後には、にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の物江義榮会長が「中嶋常允氏が提唱した健康な土づくりの考え方を基本に、5 年後に向けて関係者と連携を図り、健康な土づくりによるミネラル栽培に取り組んでいきます」と目標宣言を朗読しました。その後、会場ではミネラルっ娘^{とどろ}を使った豚汁とコシヒカリ（げんき米）のおにぎりの試食が提供されました。
*平成 27 年度に商標登録した西会津町のミネラル野菜。

■パネラー

【十和田おいらせ農業協同組合代表理事専務】斗澤 康広氏 【会津よつば農業協同組合代表理事組合長】原 喜代志氏
【株式会社生科研常務取締役】中嶋 浩平氏 【にしあいづ施設園芸生産振興組合会長】目黒 輝夫氏
【西会津町長】薄 友喜



▲ミネラル野菜展示コーナー



▲西会津高校の皆さん

「赤い羽根 勇気と優しさ 助け愛」 赤い羽根共同募金を引渡し

町内の各学校で集められた赤い羽根共同募金が町へ引き渡されました。11 月 20 日には西会津高校と西会津中学校、11 月 28 日に西会津小学校から各校の代表児童生徒がそれぞれ町役場を訪れ、町共同募金委員会長である薄町長へ募金箱を手渡しました。

薄町長は「皆さんのあたたかい善意で集まった募金は大事に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



▲西会津中学校の皆さん

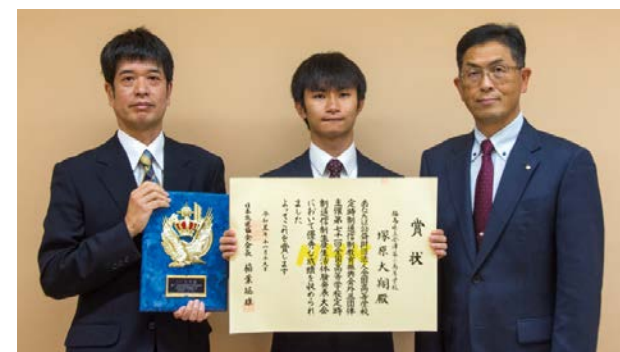


▲西会津小学校の皆さん

NHK 会長賞を受賞 全国大会の結果を報告

11 月 28 日、会津第二高等学校の塚原大翔さん（4 年）と木村哲也教諭が町役場を訪れ、全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会の結果を五十嵐教育長に報告しました。塚原さんは、10 月 11 日の県大会で最優秀賞に輝き、11 月 19 日に東京都内で行われた全国大会で NHK 会長賞を受賞しました。

報告に訪れた塚原さんは、「自分と同じようにいろいろな事情を抱え定時制高校を選んだ人たちの発表が聞けたことは貴重な経験だった。また、その中で自分の経験を伝えることができ嬉しかった」と話していました。



▲写真左から木村教諭、塚原さん、五十嵐教育長



記念講演「JA 十和田おいらせにおける健康な土づくり事業の取組みについて」



パネルディスカッション「健康な土づくり 儲かる農業を目指して」



黒沢の歴史・文化を後世に伝える 町へ著書を寄贈

12 月 7 日、樽井清市さんが町役場を訪れ、自身が執筆した「黒沢の歴史物語」を寄贈しました。

樽井さんは「資料集めから 4 年をかけて作成しました。先祖が築いた黒沢の歴史を風化させないためにも、この本を通して後世まで残ってほしい」と話していました。



活動の成果を発表 西会津こども研幾塾 閉塾式

11 月 27 日、西会津こども研幾塾の閉塾式が町役場で行われ、塾生 18 人が活動の成果を発表しました。

発表の後に、塾生自身が漉いた出ヶ原和紙を使った修了証が授与されました。塾生一人一人に修了証を手渡した塾長の薄町長は、「町をよく知るためにこれからも勉強を続け、町に自信と誇りを持って周りの人に伝えられる人になってください」とあいさつしました。

